

● 申込要領

申込方法

- 申込書該当欄に必要事項を記入の上、FAX、郵便またはホームページからなるべく早くお申込み下さい。
- 懇親会の参加は任意です。懇親会のみでの参加はできません。
申込先：品質工学会 事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-19-1
九段インテリジェントビル7階
TEL 03(6268)9355 FAX 03(6268)9350
URL <http://www.qes.gr.jp/>

参加費

- 正会員：10,000円 ● 学生会員：3,000円
- 非会員：20,000円 ● 学生非会員：6,500円
- 懇親会：6,000円（参加申込書参照）

支払方法

- 銀行振込の場合は、下記の口座に振込をお願いします。
みずほ銀行 青山支店 普通口座 1883944
口座名義：品質工学会（ヒンシツコウガクカイ）
- 銀行振込の場合は、個人名で請求書番号を記入の上、お振込下さい。
- 恐れ入りますが、振込手数料は貴殿でご負担下さい。
- 現金書留の場合は、申込書と参加費を同封の上、お送り下さい。
- 送金額は申込書を参照して下さい。
- 入金後、当日欠席の場合でも返金はいたしません。後日、申込者本人に論文集をお送りいたします。

品質工学会 会員募集中!

新規入会し、会員として大会参加

品質工学会では、品質工学に興味をお持ちの方、品質工学の色々な情報を知りたいという方々のために会員を募集しております。いま加入していただきますと、今年度の学会誌を入手できるとともに、研究発表大会に会員価格で参加できます。

会費

正会員/年額8,000円+入会金2,000円
学生会員/年額3,000円+入会金1,000円

お申込みお問い合わせは下記事務局までお願いします。

QES2009 第17回品質工学研究発表大会 参加申込書

本ページをコピーし、1人1枚に記入の上、FAXでご送付願います。

2009年 月 日

参加券・請求書の送付先は参加者本人に限らせていただきます。

事前登録およびキャンセルは6月19日まで受け付けます。以後参加希望者は直接会場にお越し下さい。

● 会員は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏名	殿	会員No.					
--------------	---	-------	--	--	--	--	--

品質工学会 事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-19-1
九段インテリジェントビル7階
TEL. 03(6268)9355 FAX. 03(6268)9350
URL. <http://www.qes.gr.jp/>

● 新規入会・非会員は以下の欄にご記入下さい。

(フリガナ) 氏名	殿	該当するものに○	新規入会 / 非会員
自宅	住所	〒	
	TEL	()	FAX ()
勤務先	(フリガナ)勤務先名		
	所属		
	住所	〒	
	TEL	()	FAX ()
送付先	勤務先 / 自宅 (希望する方を○で囲んでください。)		

		申込み方法			大会参加費	該当項目に○	懇親会費	懇親会参加	請求書の分割	合計金額
		FAX	郵便	WEB						
一般	会員	○	○	○	10,000円		6,000円	する	する	円
	非会員	○	○	○	20,000円					
	新規入会★	○	○	×	10,000円+10,000円					
学生	会員	○	○	○	3,000円		しない	/	送金方法を○で囲んで下さい。 銀行振込・現金書留	
	非会員	○	○	○	6,500円					
	新規入会★	○	○	×	4,000円+3,000円					

★新規入会は大会参加費とは別に入会金・年会費の請求書・振込用紙を送付します。

新規入会の大会参加費の欄には、年会費+大会参加費が記載されています。

年会費：正会員/10,000円 (=年額8,000円+入会金2,000円)、学生会員/4,000円 (=年額3,000円+入会金1,000)

● 新規入会の方は以下の欄にご記入下さい。

会員の種類	(いずれかを○で囲んでください。)		正会員 / 学生会員 (年卒業)
E-mail			
専門分野			
推薦人 (学生会員に限る)	氏名	会員番号	

※ 請求書、振込用紙を送付しますので、期日までに振込をお願いします。

※ 参加券、請求書及び領収書の送付先は参加者本人に限らせていただきます。

※ 参加券は事前にお送りいたします。参加券がお手許に届かなかった場合は直接会場へお越し下さい。

【開催】2009年6月29日(月)・30日(火)

QES2009

第17回

品質工学研究発表大会

技術者パワーを発揮させる品質工学

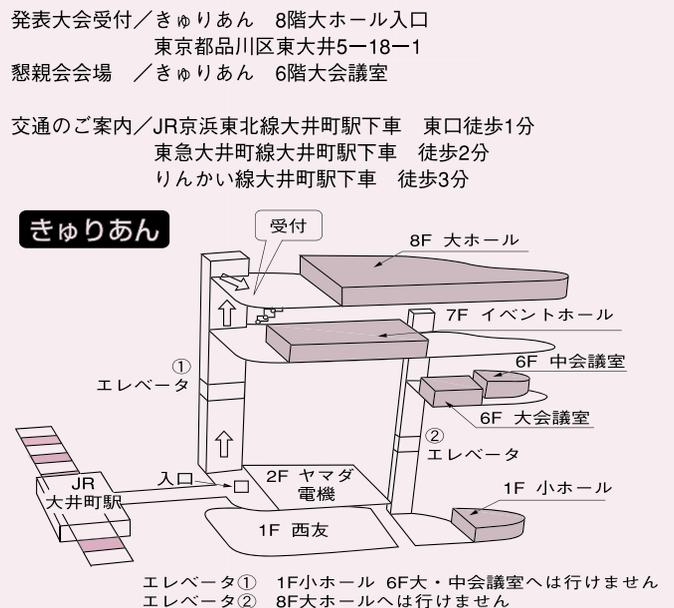
大会会場／きゅりあん(品川区立総合区民会館)(大会受付8階)
 懇親会／きゅりあん大会議室(きゅりあん6階)
 主催／品質工学会
 協賛／(社)計測自動制御学会 (社)精密工学会 (財)先端加工機械技術振興協会 中部品質管理協会 (社)電気学会
 日刊工業新聞社 日本画像学会 (社)日本機械学会 (財)日本規格協会 (社)日本合成樹脂技術協会 (社)日本設計工学会
 (社)プラスチック成形加工学会

●実行委員

(敬称略)

実行委員長	原 和彦	品質工学会副会長
幹事	高木 春記	キヤノン(株)
事業部会	小池 昌義	(財)産業技術総合研究所
	近岡 淳	有近岡技術経営研究所
	坂本慎太郎	日本オプネクスト(株)
	関 道子	(株)ニコソ
	衛藤 洋仁	いすゞ自動車(株)
実行委員	有浦 茂樹	テルモ(株)
	糸久 正人	東京大学
	江末 良太	(株)IH1
	北宮 健志	積水化学工業(株)
	小坪 正文	富士ゼロックス(株)
	小林 昭弘	キヤノン(株)
	齊藤 衛	理想科学工業(株)
	坂本 新	アルプス電気(株)
	佐々木康夫	(株)リコー
	白川 智久	セイコーエプソン(株)
	鈴木 智雄	コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株)
	田中 創	三洋電機(株)
	鏡見 太郎	村田機械(株)
	徳永 誠士	キヤノンファインテック(株)
	星野 隆臣	アルパインプレジジョン(株)
	丸尾 啓介	ヤマハ発動機(株)
	宮坂 佳秀	セイコーエプソン(株)
	森田 洋平	富士ゼロックス(株)
地域委員	飯田 憲一	北海道立工業試験場
	志田慎太郎	(株)サン・アロイ
	賣山 靖浩	リョービ(株)
	中尾 誠仁	(株)ネオス
	平野 雅康	コニカミノルタテクノロジーセンター(株)
事務局	中山みち子	品質工学会

会場略図



研究発表大会へのお誘い

大会実行委員会

今年の品質工学会の提案は「技術者パワーを発揮させる品質工学」です。技術者が技術開発に専念するためには、トップマネジメントの意識改革が最も大切です。目先の企業の利益を考えるのではなく、長期的な視野でものづくりを行うためには、汎用性の高い技術の蓄積で、お客様が欲しい機能の商品を開発することが大切です。

品質工学では、社会的損失の最小化を図る「心」とそれを達成するための「技」と関連部署の知恵を結集するコンカレント体制の総合的なマネジメント戦略が必要だと考えています。

今、日本はGDPの国際的評価の極端な低迷や社会的トラブルの狭間で苦しんでいます。品質工学ではハードだけでなくソフト問題も含めて、システムのあるべき姿を定義し、総合判断により機能性を評価することを提案してきました。エネルギーの最小化は、エネルギー問題を含めた「社会的損失の最小化」に通じます。全体のあるべき姿を明確にし、そのうえで個々の

問題を論じることが大切です。田口玄一名誉会長は常々「技術の総合判断の議論が必要」と言われています。

品質工学会は17年目を迎え原点に戻り、地球にやさしい「真のお客様主義」で「桁違いの技術開発」を目指したものづくりが望まれています。

今年の発表は111件ですが、発表されるテーマを通じて、企業や研究機関の技術開発に取組む姿勢や戦略を読み取っていただくことを願っています。

世界的視野に立って日本のあり方を鋭く論じる寺島実郎氏(多摩大学学長・(株)三井物産戦略研究所会長)を招いた特別講演を企画しています。

会員はもちろん職場の皆様をお誘いのうえ、是非大会にお越しくださるよう大会実行委員一同、心よりお待ちしております。

6月29日(月)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階) / 小ホール(きゅりあん1階)

大ホール QEの推進と活用 10:30~12:10	1	品質工学の加工工程内導入とその経緯について	河野 数一	㈱松浦機械製作所
	2	品質工学プロモータのあるべき姿の実現を目指した取組み	内藤 貴彦	トヨタ自動車㈱
	3	品質工学活用の活性化に向けた現状評価と推進体制の検討	柴田 恭男	オリパス㈱
	4	ものづくり課題解決における品質工学の役割	熊坂 治	パイオニア㈱
大ホール QE教育 13:15~14:55	5	品質工学用教材「コロボ君」	渡部 義晴	富士ゼロックスエンジニアリング㈱
	6	コマ及び付帯条件のパラメータ設計	濱田 郁郎	MOST 合同会社
	7	品質工学研修用教材の提案「歩数計の機能性評価」	佐々木真人	ソニー㈱
	8	企業におけるMTシステム教育の研究(2)	中沢 和彦	アルプス電気㈱
小ホール 加工技術① 10:30~12:10	9	点数付け評価による薄板重ねレーザー溶接条件の最適化	桑子 俊	マツダ㈱
	10	包材用フィルムの超音波接合工程の最適化研究	大石 満	日機装㈱
	11	2液系エポキシ接着剤による純アルミ板接合工程の最適化研究	滝口 裕子	花精化学工業㈱
	12	MTシステムのはんだ接合評価への応用	楠本 剛史	アルパインプレジジョン㈱
小ホール 加工技術② 13:15~14:55	13	歯科用インプラント内製におけるエンドミル寿命の向上	池谷 智明	㈱ジーシー
	14	品質工学を活用した型彫り放電加工生産性改善	古市 仁	鈴鹿富士ゼロックス㈱
	15	ワイヤカット放電加工におけるワイヤの機能性評価	沼澤 陽介	宮城教育大学
	16	T法(1)による細穴放電加工の除去量の予測	和合 健	岩手県工業技術センター
大ホール 15:10~17:10	《来賓挨拶》 ㈱日本規格協会理事 島 弘志 《表彰式および受賞記念講演》 貢献賞・精密測定技術振興財団品質工学賞論文賞・AS1賞・富山県経営者協会品質工学賞			

6月29日(月)

ポスター発表(OS・自由討論) 展示時間10:30~15:00: イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 材料系① 10:30~12:15	17	燃料電池(PEFC)のMEA組成の最適化研究(2)	鈴木 隆司	パイオニアディスプレイプロダクツ㈱
	18	熱崩壊性基布加工方法の最適化	石井 克明	群馬県繊維工業試験場
	19	色素増感型太陽電池の光-電力変換材料組成の最適化研究	森 輝雄	森技術士事務所
	20	艶消し塗料の配合最適化	松井 智隆	東亜合成㈱
A会場 自動車 13:15~15:00	21	機能性評価を活用した材料設計	松村 智之	コニカミノルタエムジー㈱
	22	ソナグラムパターン認識によるエンジン異音の定量化	宝泉 誠	ヤマハ発動機㈱
	23	モデル実験による放熱性能評価の研究	尾崎 将	㈱いすゞ中央研究所
	24	アーム式パワーウィンドレギュレータ昇降安定化構造の検討	藤原 雄高	三菱自動車工業㈱
	25	エンジン補機駆動ベルトのシステム最適化	中嶋 庄栄	三菱自動車工業㈱
	26	マニュアルトランスミッションにおけるセレクト操作力の最適化研究	八木 朗	㈱ユニバース
	27	キャブマウント最適化	大崎 喜久	三菱ふそうトラック・バス㈱
B会場 化学系 10:30~12:15	28	パラメータ設計を用いた鉛測定用試薬の組成最適化	浅野 貴春	興和㈱
	29	ガラス洗浄工程最適化と官能評価の品質工学的扱い	石原 孝之	パイオニア㈱
	30	オゾン水生成装置の最適化設計	浦野 崇	㈱IHシパウラ
	31	標準添加(付加)法における比例式による未知の値xおよびSN比ηの推定	吉岡 嘉暁	広島市役所
B会場 画像形成 13:15~15:00	32	IJプリンタにおけるバンディング低減の為に画像処理技術の確立	井添慎太郎	ブラザー工業㈱
	33	トナー搬送機構の機能性評価	落合 誠	富士ゼロックス㈱
	34	品質工学による紙カール安定化	中根 義満	キヤノン㈱
C会場 機械系① 10:30~12:15	35	ハンドベル形状の最適化に関する基礎的研究	鍋木 哲志	東毛産業技術センター
	36	応力評価による構造部材の形状最適化	山野 竹秀	アルパイン㈱
	37	低圧タービン・ケース・パッフルのクラックパッチ修理最適化	立田 知也	㈱IH1
	38	CAEによるマシニングセンタ構造体の最適化設計	吉田 光慶	㈱松浦機械製作所
	39	マスカラ用ブラシ設計の品質工学的検討	三宮 公江	花王㈱
	40	歯科用セメント液容器ノズルの滴下安定性改善	中村 勝	㈱ジーシー
C会場 機械系② 13:15~15:00	41	発表取り下げ		
	42	電力の計測条件の検討	桑原 修	広島市工業技術センター
	43	直動滑り摩擦における摺動特性の研究(2)	常田 聡	日精樹脂工業㈱
	44	チエン駆動コンベア低騒音化可能部位の探索	長浜 正宗	オークラ輸送機㈱
	45	ドラム式洗濯機開発への品質工学の活用	阪口 邦彦	シャープ㈱

6月29日(月)

ポスター発表(OS・自由討論) 展示時間10:30~15:00: 大会議室(きゅりあん6階)

大会議室 生活系 10:30~12:15	46	煉羊羹における「硬さ」の識別能力評価	横井 琢也	㈱虎屋
	47	サツマイモ栽培条件の最適化研究	金築 利旺	㈱あじかん
	48	品質工学による家庭用暖房機の評価 エアコン vs 石油ファンヒータ	佐々木市郎	アルプス電気㈱
	49	生活習慣からの認知症危険度に関する研究(第1報)	牧野 和昭	あいち計測研究会
	50	個人投資家の立場から見たSN比を用いたテクニカル指標の評価方法検討	田中 宏明	NMS研究会
大会議室 MTシステムの 応用 13:15~15:00	51	「品質工学により文化を変える」の定量化の研究(3)	吉田ゆき子	アルパインプレジジョン㈱
	52	複合機向けカートリッジ販売台数の将来予測	西山 岳	コニカミノルタビジネステクノロジーズ㈱
	53	中部・関東地方の地震予測の方法(2)	早川 幸弘	富山商船高等専門学校
	54	互いに影響を与える未知なる2信号のT法による推定方法	野澤 明弘	スター精密㈱
	55	直交表の種類によるMTシステム項目診断結果の違い	和田 友宏	富士ゼロックス㈱
	56	人口増加率の予測	鐵見 太郎	村田機械㈱

☆OS(オーガナイズドセッション): 各ポスターセッションにおいて、発表者より研究概要を説明します。(1テーマ10分: 発表5分、質疑5分)

☆自由討論: 全OS終了後、発表者と参加者が自由に討論するものです。

☆懇親会: 6月29日(大会1日目) 17:30~19:30, きゅりあん6階大会議室

技術者パワーを発揮させる品質工学

6月30日(火)

壇上発表：大ホール(きゅりあん8階) / 小ホール(きゅりあん1階)

大ホール 9:15~9:45	品質工学会総会		
大ホール SN比とその応用 10:00~11:40	57	MTシステムにおけるエネルギー比型SN比の適用	清水 豊 合同会社オフィスワイ・エス
	58	SN比の合成方法の検討~エネルギー比型SN比 S_{β}/S_N の活用	鶴田 明三 三菱電機(株)
	59	SN比による画像書き込みユニット調整装置のコストダウンと信号数削減の研究	留目 剛 東芝テック画像情報システム(株)
	60	CAEによるプレス加工の材料特性最適化 - L_{18} と4374通りの比較-	三田 智彦 (株)ミツバ
大ホール 機械系③ 12:45~14:25	61	レシプロ圧縮機吸吐弁の圧力損失低減に関するタグチメソッドの適用	久保 世志 (株)HI
	62	完全試作レスCAEシステムの開発 (誤差因子の分散と損失関数等の考慮)	田辺 郁男 長岡技術科学大学
	63	数値シミュレーションによる7/24テーパシャンクツールホルダの最適設計	上原 一剛 鳥取大学
	64	往復式エアコンプレッサの最適化設計	山口 直樹 アイシン精機(株)
小ホール 医学・薬学 10:00~11:40	65	SURVEILLANCE OF PATIENTS AFTER OPEN HEART SURGERY BY MAHALANOBIS-TAGUCHI-SYSTEM (MTS)	HERBERT RUEFER Medical and Technical Diagnosis
	66	自己診断による健康改善	竹内 和雄 セイコーインスツル(株)
	67	使い捨て医療機器の機能向上の研究	木下 秀明 テルモ(株)
	68	開発医薬品原薬製造における化学反応工程への品質工学の適用	黒田 賢史 武田薬品工業(株)
小ホール 電気系① 12:45~14:25	69	温水洗浄便座一体型便器用電子部品の機能性評価	林 謙吾 TOTO(株)
	70	温水洗浄便座用電源回路のパラメータ設計による最適化	松田 泰宏 TOTO(株)
	71	電源回路の出力電力安定性評価による回路の最適化	増子 憲夫 アルパイン技研(株)
	72	UHFタグRW搭載ハンディターミナル読取距離の安定化	林 慎一郎 パナソニック(株)
大ホール 14:50~16:20	《特別講演》 『日本創生と技術開発』 勲日本総合研究所会長 / 多摩大学学長 寺島 実郎 《表彰式》 精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞・品質工学会会長賞・品質工学研究発表大会実行委員長賞		

6月30日(火)

ポスター発表 (OS・自由討論) 展示時間10:00~14:30 : イベントホール(きゅりあん7階)

A会場 電気系② 10:00~11:45	73	シミュレーションによるモータ特性の最適化	江上 典彦 パナソニック(株)
	74	プラモデル用小型モータのエネルギー変換と仕事量の関係解析	小野 育康 (株)アマダ
	75	新しく開発した照度計の機能性評価	大久保克俊 (株)仙台ニコンプレシジョン
	76	RT法を用いたスイッチ製品の不良分類の研究 (その2)	菊地 富男 アルプス電気(株)
	77	ステッピングモータの評価	鐵見 太郎 村田機械(株)
A会場 ソフトウェア 12:45~14:30	78	リスクマネジメント強化による輸出管理業務プロセス変革	平川 和樹 (株)東芝
	79	直交表作成アルゴリズムの研究	渡辺 雄高 理想科学工業(株)
	80	ソフトウェア開発の基本機能	松坂 昌司 松坂ティールエムコンサルティング(株)
	81	直交表を利用したソフトウェアのブラックボックステスト	新里 幸浩 三菱自動車工業(株)
	82	直交表を用いたソフトウェア検証の標準化	横屋 和樹 (株)森精機製作所
	83	ソフトウェア開発における品質工学の効果的活用法	榛葉 悟 ノーリツ鋼機(株)
B会場 機械系④ 10:00~11:45	84	非定常熱エネルギー評価による放熱システムの最適化	横田 隆弘 アルパイン技研(株)
	85	ベアリングの耐久評価法の研究	森 富也 東北リコー(株)
	86	洗面化粧台用の包装材の機能性評価	小林 千尋 TOTOハイリビング(株)
B会場 材料系② 12:45~14:30	87	半導体封止材用添加剤の機能性評価	大野 康晴 東亜合成(株)
	88	キッチン用傷付き防止テープの機能性評価	本郷 文雄 TOTO(株)
	89	樹脂部品の評価方法と誤差因子の研究	長郷 学 アルパインプレシジョン(株)
	90	プラスチックギアの高寿命化のための簡易的摩耗評価法	田澤 潤 (株)いわて金型技研
C会場 加工技術③ 10:00~11:45	91	射出成形シミュレーションを用いた箱形状モデル成形の最適化	石黒 義正 サイバネットシステム(株)
	92	多点ゲート射出成形品におけるゲート位置の最適化	須田 高史 群馬産業技術センター
	93	外観部品における成形部品形状の最適化	中居 達郎 市光工業(株)
	94	省エネ発光体の評価方法の研究 (第一報) -機能性材料の形成条件の最適化-	市川 伸彦 富山商船高等専門学校
	95	MTシステムによるプレス加工におけるき裂検出技術	佐藤 善紀 岩手大学
C会場 加工技術④ 12:45~14:30	96	金属光造形における積層造形条件の評価方法の再検討	天谷 浩一 (株)松浦機械製作所
	97	スパッタリング外部電極膜の製造条件最適化	松澤 覚 NECトーキン(株)
	98	高分子材料への噴きつけ塗装の評価(2)	星野 隆臣 アルパインプレシジョン(株)
	99	シール剤の機能性評価	久保田宗誉 (株)松浦機械製作所
	100	押込変形試験による材料の熱処理評価	中井 功 (株)アサヒ技研
	101	ハイボイドギヤ高速加工条件の最適化	三石 智洋 マツダ(株)

6月30日(火)

ポスター発表 (OS・自由討論) 展示時間10:00~14:30 : 大会議室(きゅりあん6階)

大会議室 工程管理 10:00~11:45	102	波形データを用いたメカ検査工程の検討	舘 明博 日本大学
	103	消費電流データを用いた工程管理	吉岡 幸宏 日本大学
	104	損失と生産性の評価による工程設計の研究	佐藤 清悟 アルパインプレシジョン(株)
	105	MT法を使用した半導体ウェーハプロセスの出荷判定方法の提案	長谷川充彦 富士通マイクロエレクトロニクス(株)
	106	MTシステムによるモールド部品の不良品検出	千葉 洋光 (株)いわて金型技研
	大会議室 解析手法 12:45~14:30	107	非線形成分を考慮したT法の研究
108		原因不明問題への品質工学の適用	中沢 弘一 パナソニック(株)
109		L_{18} の同一評価データに対する異なった解析方法による最適条件の比較	上野 玲子 パナソニック(株)
110		公理的設計法を導入したパラメータ設計の研究 (システム選択)	稲垣 雄史 統計数理研究所
111		直交表による要求命題に対する“解の有無の判定の確かさ”の検証	森 輝雄 森技術士事務所
112		品質工学を利用したアンケートの分析	岩垂 邦秀 勲日本規格協会